

# 医学は

# いま



## 第三部・提言

3

中国、韓国などに視野を広げ、果てるまで積極的に発信していくことも可能なのでは」

### ■積極的に

すがなみ・しげる 昭和52年、岡山大学院医学研究科修了。公衆衛生学。病院勤務を経て56年、岡山市内に内科医院を開業。59年、AMDA代表。広島県神辺町出身。51歳。

人に優しい、バリアフリーの地域づくりが叫ばれている。国際貢献と地域おこしを目指す「国際貢献トピアおかやま構想を推進する会」のメンバーでもあり、車いすでの市街地点検活動などにも力を入れる。

「高齢化社会が進む中で、環境福祉都市の構築を考えていく時代になっている。岡山市内では、

環境と人に優しい路面電車を環状化する計画があり、JR駅やホテル、デパートでも車いす対応のエレベーターやトイレなどの整備が進んでいる。

快速な地域づくりには、医療人も積極的に携わっていかねければならぬ。海外を見つめると同時に足元を見つめ直し、岡山から医療や福祉を世界展開するようになればと思っ



わたり救急援助活動を展開。多い日には百人もの医師、看護婦、薬剤師、ボランティアを派遣した。  
「震災時には、混乱する現地で何が必要かを察知し、医師や看護婦ら専門家の仕事を調整するコーディネート

(AMDA代表)

## 菅波 茂さん

# 世界規模で考える必要

を訪れる医師もおり喜んでいますが、ボランティアだけでは生活できないのが現状だ」

「人命を助けるという意味で医療に国境はない。国内にとどまらず世界規模で考えなければならぬ。ただ、日本には社会的条件が

ネットワーの必要性を感じ要だ」

現在、岡山大医療技術短大部看護学科の非常勤講師。同短大部は十月、四年

「欧米では看護婦らの専門性が高く、四年生大学や修士課程を修了した知識と

と期待している」

### ■現場実習を

平成七年の阪神・淡路大震災では、発生後一カ月に

重視したカリキュラムが必

の充実が急がれる。

ただ、ようやく国際的

療ビジネスが盛んという。

### ■果てるまで

海外では国境を超えた医療

はアジアは遅れており、